

水野浩校長・理事長に聞く

21世紀・新名学園旭丘高校の挑戦

今年、学園創立14周年を迎えます。学園史の資料集づくりに取り組んでいることですが、「本校では来るべき2022(平成34)年の学園創立120周年を展望し、さまざまな課題に挑戦してまいります。今回の110周年史資料集の編纂はその一つです。戦前の大日本帝国憲法・教育勅語体制における沿革については、明治から昭和初期の教育法制とかわる公立公文書館の記録(学園の諸申請に関する資料等)等に基づいて、日本と地域の教育史・教育運動の視点から実証的に学園の歴史を検証してきました。本校が創立された明治後期から大正にかけて、この国では数々の私学が創設され、「官」と「民」双方の手で中等教育機関の整備が推し進められました。

本校は1902(明治35)年に裁縫・造花・編物伝習所(私塾)として設立後、私立学校令に基づく「新名裁縫女学校(各種学校)」へと進展し、昭和初期には実業学校令に基づく「新名高等家政女学校(職業学校)へと発展し、教育条件・制度・内容の整備を進めました。新たに入手した資料から、小田原中学校(中等学校令)、現在の小田原高校)、小田原高等女学校(高等女学校令)、戦後の小田原城内高校)の開校とほぼ同時に学校教育法制定の中等教育機関となったこと、本校に入学志願者が急増したことも判明し、今日の公教育私学としての新名学園の存在意義を改めて確認することができました。

「学園の草創期に郷土の農政家・二宮尊徳の『報徳思想』を校訓として掲げたのはどうしてだと考えますか。」
「本校の草創期は、明治37、8年の日露戦争の時代で、ちょうど日本の産業発展期であり、女性が手に技をつけて精神的・社会的に自立することができた教育を求める地域の教育要求があり、学園はこれに裁縫・手芸を軸とした実学教育を持って応えました。『生活と教育を結合させる』とした草創期の教育の基調は、今日の学園の教育にも受け継がれ、新たな形で発展しています。こうした実学教育を支える理念として、『至誠』『勤労』『分度』『推譲』といった報徳思想を置いたのだと考えます。」

「120周年視野『新総合計画』」
「今年、学園総合整備計画」の策定から30年を迎えます。この間の学園の発展と創立120年に向けた、新たに策定された「新総合計画」についてお聞かせください。」
「学園は1986(昭和61)年に策定した『学園総合整備構想』に基づき、第1校地の総合整備と久野・荻窪キャンパス(第2校地)の取得・整備を行いました。他方、男女共学の復活実施(1999年)、総合学科開設(2002年)、不登校生徒の発達保障を図るためのベシッククラスの設置(2010年)、全教育課程の単位制化(2014年)にも取り組んでまいりました。現在では、二つの校地と普通科・総合学科の二つの学科のもと、「地域が学校」「小田原のまちを教室」として、子ども・生徒の発達を保障する教育課程の進化・充実を図っています。また、全学協議会の設置(2004年、既に21回開催)「子ども・生徒の発達研究」等の5つの研究課題をもつ新名学園私学教育研究所の設立

「交流深まる中国・モンゴル」
「創立110周年を機に着手されたグローバル教育は、どのように展開されていますか。」
「戦後70年における本校の国際連携教育(足元からのグローバル教育)の特徴は、地域と学校との関係が深まることと一体となってこれが発展していることにある。具体的には、一昨年、昨年3月に訪中(西安外国語大学附属外国語学校に2回、安陽第37中学校に今年1回)するとともに、昨年4月上旬には西安外国語学校の中・高校生が来日・来校し、様々な教育・文化・スポーツ交流を行いました。本校の国際交流のユニークな点は、授業(校内・校外)や学校の行事・催しへの参加(入学式への参列)を通



学校法人 新名学園旭丘高校 理事長 水野浩



中国・安陽国際漢字大会(水野理事長の左右は安陽市外事弁公室部長と副部長、右端は三輪新名学園私学教育研究所長)

「地方消滅」とも言われるような地域の衰退の危機について、どう考えておられますか。」
「現在、少子高齢化・出生率の減少に加え、地域から若者が流出していく状況の中で、「地方創生」が切迫した政治課題・国民的課題となっています。こうした現象に歯止めをかけ、「地方創生」を進める上では、学校の果たす役割はとても大きいと考えます。これまで「地域教育文化センター・防災センター」としての学校づくりを進めながら、「公開まちづくりシンポジウム」等の場を通して地域住民・市民・行政・研究者の皆さんと「史跡と学校・市民生活の共生」等をテーマに対話・共同を進めてきましたが、それ以上に重要なのは「人を育てる場」としての学校の責務です。」

2016年度生徒募集
募集定員533名
普通科 270名(内、クリエイティブクラス60名) 総合学科263名
☆総合学科には「留学クラス」(特別奨学金制度あり)
☆学校バス「シマールコース」
☆スポーツコース(海外からの留学制度あり)
☆両科とも不登校生「ベシッククラス」(計60名)あり

1月9日(土)学校説明会
■推薦入試/1月22日(金)
■一般入試/2月10日(水)
■2期入試/3月3日(木)
※3月2日(水)入試補講会

学校法人 新名学園
旭丘高等学校
創立者:新名百乃史

「Think Globally, Act Locally」の視点を獲得するとともに、自分づくり・学校づくり・地域づくり・国づくりをつなげて自己の進路と生き方を模索しています。これまで日本の教育は受験競争による「地域を捨てる教育」の体系に陥っていた傾向は否めないと思えます。私たちは、改めて「地域を育てる学力と人間力」を培う教育の創造を使命としていきたいと思っております。」



小田原二世会
会長 立川公一

有 小田原植木
小田原市久野二〇八三番地
☎0465(2)3415(代)
☎0465(2)3415(代)

神奈川県タクシー協会
小田原支部
支部長 曾我 良成
小田原市栄町一丁目三
☎0465(2)1099

NPO法人小田原ガイド協会
会長 楓川 剛徳
小田原市城内3-22
☎0465(2)28800

公益社団法人 小田原青色申告会
会長 志村 宗男
小田原市本町二丁目一四
☎0465(2)2124(代)
☎0465(2)2124(代)

小田原地区木材業協同組合
小田原林青会
☎0465(2)3501

神奈川県 土地家屋調査士会 県西支部
公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会
小田原支部長 高杉尚男
小田原市栄町一丁目六番八号
TEL 0465(2)35043
FAX 0465(2)35043

久津間製粉株式会社
代表取締役 久津間康允
小田原市久野2358
TEL 0465(2)3411
FAX 0465(2)3411

小田原衛生グループ
代表取締役会長 鈴木 茂
代表取締役社長 鈴木 大介
小田原衛生公社
(株)小田原衛生工業
(株)小田原衛生美化サービス
(株)トータルライフサービス
(有)オーイーシー
☎35-2038(代)

小田原遊技場組合
組合長 萩原 哲一
小田原市栄町一丁目五の5
大邦ビル3階20
☎22-1066

神奈川県警察官友の会
小田原地区会
会長 鈴木智恵子

株式会社 東海設備工業
代表取締役 村松 直政
本社 小田原市桑原569
☎0465(2)28288

ベストリネンサプライ株式会社
代表取締役 小玉 智武
小田原市上新田22-1
☎0465(2)488256

木製品の店 TAKUMI 館
HARUNE 小田原
電話0465(2)46930六
一般社団法人箱根物産連合会

門松
小田原報徳自動車株式会社
代表取締役社長 曾我良成
小田原市栄町一丁目6番8号
電話0465(2)28181

石井石材店
高度の品質・最良の設計
http://www.ishii-sekizai.jp/
事務所・工場 小田原市田島13-1
☎(0465)42-3849

株式会社 秋山設計
代表取締役 秋山隆一郎
小田原市下新田220番地3
☎0465(2)489955(代)

ODAWARA...APRI
ショッピングデパート
小田原市栄町2-9-33
tel:0465-21-5000

WAZA屋
寄木・漆器の店
小田原ラスカ5F
☎0465(2)37749

影島塗装
一般建築塗装
取組員一級技師
小田原市新屋273-1 ☎0465-34-4844 立山和也